

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭59—89826

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和59年(1984)6月18日

⑭ Int. Cl.³
B 65 D 6/06

6576—3E

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑫ 引出し容器

出 願 人 号吉田工業株式会社内
吉田工業株式会社

⑭ 実 願 昭57—185306

東京都墨田区立花5丁目29番10号

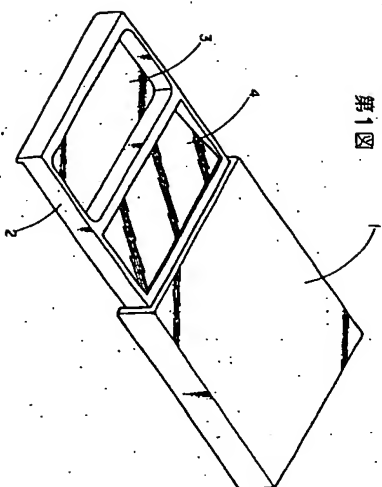
⑮ 出 願 昭57(1982)12月9日

号

⑯ 考 案 者 塩井勇次

⑰ 代 理 人 弁理士 一色健輔

東京都墨田区立花5丁目29番10



第1図

⑬ 採用新案登録請求の範囲

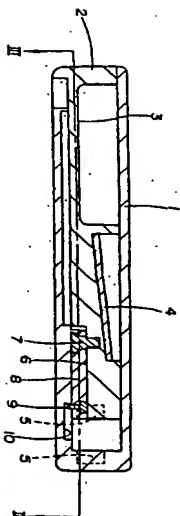
前端面が開口した矩形容器内に矩形受皿を引出し自在に収納してなる引出し容器において、該容器と該受皿との間に該受皿を常時前方へ付勢する手段を設けるとともに該受皿と該容器との相対移動する面の何れか一方に、一端にピンを相対した揺動アームの他端を枢着し、該相対向する他方の面に該ピンが係合する案内孔を設け、該案内孔には前後方向に延長する中央弾部とフック状弾部とを備え、該弾部が連続的に形成され、該受皿を引出し位置から該前方付勢手段に抗して内方へ押圧すると該揺動アームの該ピンが該中央弾部から該フック状弾部へ変位し、この押圧力を除去すると該前方付勢手段の働きによって該フック状弾部と係合して該受皿は該位置を占めて該容器内に格納され、該受皿を再び該前方付勢手段に抗して内方

へ押圧すると該揺動アームの該ピンが該フック状弾部から該中央弾部に入り、この押圧力を解除すると該前方付勢手段の働きにより該ピンが該中央弾部を通り該中央弾部に入り該受皿が該容器の前面開口から前方へ押出されてなることを特徴とする引出し容器。

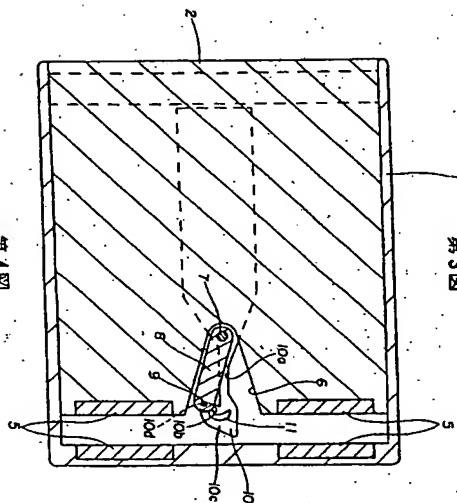
図面の簡単な説明

第1図は本新案に係る引出し容器の受皿を引き出した状態における斜視図、第2図は第1図に示した引出し容器の受皿を格納した状態における断面図、第3図は第2図のⅡ—Ⅱ線断面図、第4図は受皿の押圧時における揺動アームのピンと案内孔との関係を示す図。
1……容器、2……受皿、5……揺動アーム、6……ピン、8……揺動アーム、9……ピン、10……案内孔。

第2図

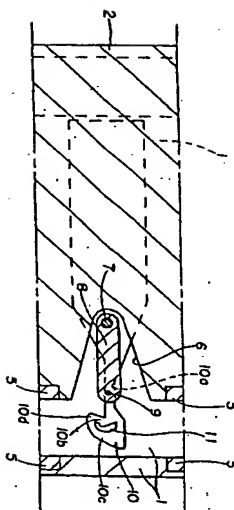


第3図



第4図

(c)



第 4 圖

